



今年もよろしくね!

みたか環境ひろば

令和8年1月号 vol.94



1

ふじみまつり

私たちの生活が生き物に
与える影響も提案

令和7年11月16日、みたか環境活動推進会議は第13回ふじみまつりに参加しました。今回は、燃料電池自動車MIRAIの展示と水素から電気を発生させる仕組みの実演、蜜ろうラップのワークショップに加えて、自然・生き物に関するクイズなどを行い、沢山の方に参加していただきました。今年度は地球温暖化や、人が植物や動物を移動させたことによる生き物の変化に関するクイズのブースを出しました。問題は少し難しかったかもしれませんが、エコな活動と同時に私たちの生活が生き物に与えている影響も考える機会になったのではないかと思います。(藤田)

ふじみまつりクイズ

ふじみまつりで出したクイズです。
ぜひチャレンジしてみてください!

答えは
ウラ

Question2

昔はいなかったのに地球温暖化や都市化の影響で
東京でも増えてきているセミはどれでしょう?

①



ニイニゼミ

②



クマゼミ

③



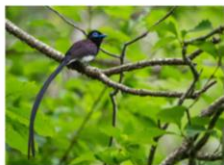
アブラゼミ

④



ミンミンゼミ

もともとは外国から連れてきて飼っていた鳥で
公園などで野生化し増えている鳥はどれでしょう?



①サンコウチョウ



②ルリビタキ



③ホンセイインコ

ぼくはふゆになるところえんにやってくるよ!



2

百年の森フェスタに参加しました

三鷹市はまち全体がうるおいを持った「緑と水の公園都市」を目指しているのを知っていますか？百年後も緑あふれる空間を作り出す一つのきっかけとして令和7年5月11日、三鷹駅前のさくら通り駐車場で「百年の森フェスタ」が開催されました。三鷹市内の植木・花卉（かき）生産者が集まる三鷹園芸緑化組合が、植木・グランドカバー・ポット花で森を創りました。フェスタには多くの来場があり、参加した来場者は「駐車場に突然森ができてびっくりした。色々な樹木や花が見られて楽しかった」と声があがりました。ここを拠点に市全体に緑があふれる空間が広がり、住みやすく豊かなまちづくりとなって欲しいです。（高橋）



三鷹駅前再開発事業コンセプトブック表紙

詳細は右のQRコードからご覧になれます→
三鷹市都市再生部
三鷹駅前地区まちづくり推進本部HP



3

三鷹市に住んで

私は三鷹市に住んで5年経ちます。

まず三鷹市に住んで感じた事は、ゴミの分別が細かく、プラスチックが分別されている事に驚きました。（過去数カ所住んでいたところも最近ではプラスチック分別が始まっていますが住んでいた当時は燃えるゴミでした。）



プラスチックを分別する事で、燃えるゴミの認識からプラスチックゴミと認識が変わり、捨てる時に何の素材で出来ているかを確認するようになりました。

また、最近では環境問題を多く耳にする機会が増えてきて、先日海に行った際、今までは全く気にしていなかった砂浜のプラスチックゴミが目に入るなど、自分さえきちんとゴミを分別して出していれば問題ないと思っていた意識が少しずつ変わってきています。

これからも少しずつかもしれませんが、環境問題を意識しながら生活していきたいと思います。

（根本）

※ 砂浜の写真です。白いものが貝殻だと思っていましたがプラスチックでした。

Q:1

③ホンセイインコ



外国からつれてきて、人が飼っていたホンセイインコを外にはなしたことで公園などで増えてしまっているよ。同じような木の場所に巣をつくるフクロウなどにとってはライバルであり、もともといる鳥たちへの影響が心配されているよ。

ふじみまつり
クイズ

答え

解説もぜひ読んでくださいね！

Q:2

②クマゼミ



クマゼミが東京でも増えている理由は

- ①地球温暖化と都市化でクマゼミが卵から生まれるのが早くなり雨が降る梅雨に生まれることができるようになったこと
- ②気温上昇による乾燥や都市化の整備で土が固くてもクマゼミの幼虫はもぐる力が強く土にもぐれること
- ③人が公園をつくる時などに西日本から木を移動させて東京にクマゼミの卵や幼虫を連れてきてしまうことなどが理由と考えられているよ！

次回の発行は令和8年4月の予定です

※ 本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

発行：みたか環境活動推進会議（愛称 みんなの環境）

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課

電話：0422-29-9612(直)

